

4章

Windows[®] 95、Windows[®] 98、 Windows[®] Me での操作

4.1	ソフトウェアについて	18
4.1.1	付属のソフトウェア	18
4.1.2	必要なハードウェア/ソフトウェア環境	19
4.2	AdobePS ドライバーのインストール	20
4.2.1	インストール方法	20
4.3	プリンタードライバーのプロパティ	26
4.3.1	[カラー設定] タブの設定	26
4.3.2	[初期設定] タブの設定	28
4.3.3	[プリンタ構成] タブの設定	31
4.3.4	[出力設定] タブの設定	32
4.3.5	[CentreWare] タブの設定	35
4.4	オンラインヘルプの使い方	36

4.1 ソフトウェアについて

CD-ROM (PostScript® Driver Library) に入っている、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me 用のソフトウェアについて説明します。

4.1.1 付属のソフトウェア

付属の CD-ROM の中で、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me から本機で印刷する場合に必要なものは、以下のとおりです。

「win9x」フォルダー

日本語版の Adobe 社製 PostScript Driver (4.4.1J) に、弊社の機能を追加したプリンタードライバーと PPD ファイルが入っています。ジョブオーナー名を指定する場合や、CentreWare のプリンターモニター機能などを使用する場合は、必ずこのプリンタードライバーをインストールしてください。

「ppd」フォルダー

日本語版と英語版の PPD ファイルが入っています。アプリケーションなどに PPD ファイルを追加するときを使用してください。

「Ps3_fnts」フォルダー

プリンターフォントに対応した、スクリーンフォント 136 書体 (TrueType 形式の 19 書体と Type1 形式の 117 書体) が入っています。Type1 形式のスクリーンフォントは、ATM を使用してインストールしてください。印刷時は、Adobe 社製 PostScript Driver (4.3J) を使用してください。

「CE Fonts」フォルダーには、Central European (CE) 版の Type1 フォント 117 書体が入っています。「TrueType (Core OS) fonts」フォルダーには、TrueType フォント 19 書体が入っています。「Type 1 fonts」フォルダーには、Type1 フォント 117 書体が入っています。

「atm」フォルダー

Windows® 95、Windows® 98 用の Adobe Type Manager® (3.2J) が入っています。インストールするには、このフォルダーの中にある [install.exe] をダブルクリックし、画面に表示される指示に従って進めてください。

readme ファイル

プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されています。必ずお読みください。また、各フォルダー内の「readme.txt」や「fxreadme.txt」にも、プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されています。必ずお読みください。

4.1.2 必要なハードウェア / ソフトウェア環境

Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me用プリンタードライバーの動作環境は、以下のとおりです。

コンピューター本体

- Windows® 95、Windows® 98、またはWindows® Meが動作する、IBM PC/AT およびその互換機とPC-9800シリーズ

基本ソフトウェア

- Windows® 95 日本語版
- Windows® 98 日本語版
- Windows® Me 日本語版

4.2 AdobePS ドライバーのインストール

Adobe 社製 Printer Driver (AdobePS4.4.1J) をインストールします。

ここでは、Windows® 95 を例に、DocuPrint C2221 のプリントドライバーをインストールする操作手順を説明します。

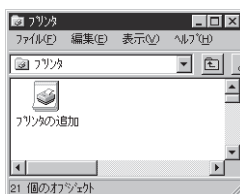
補足

インストール時に表示されるダイアログボックス内の [キャンセル] をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、[戻る] をクリックすると、そのダイアログボックスでの設定を取り消して、1つ前のダイアログボックスに戻ることができます。

4.2.1 インストール方法

操作手順

- ① Windows® 95 を立ち上げます。
- ② [スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。
[プリンタ] ウィンドウが表示されます。
- ③ [プリンタの追加] を開きます。



「プリンタの追加」ウィザードが起動します。

- ④ [次へ >] をクリックします。



プリンターの接続方法を選択する画面が表示されます。

5 プリンターの接続方法を選択し、[次へ>] をクリックします。

プリンターが直接コンピュータに接続されているときは[コンピュータに直接接続(ローカル プリンタ)]を選択します。それ以外の場合は[ネットワーク プリンタ]を選択します。ここでは、[ローカル プリンタ]を選択した場合を例に説明します。

補足

[ネットワーク プリンタ]を選択した場合は、[ネットワークパス]ダイアログボックスで対象プリンターを設定します。



プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

6 「PostScript® Driver Library」のCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットします。

7 [ディスク使用] をクリックします。

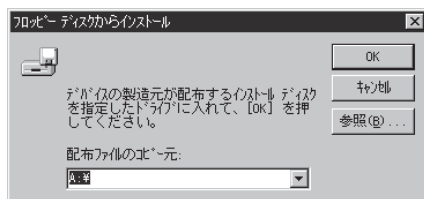


[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスが表示されます。

- ⑧ 「x: ¥ win9x」と入力し、[OK] をクリックします。

補足

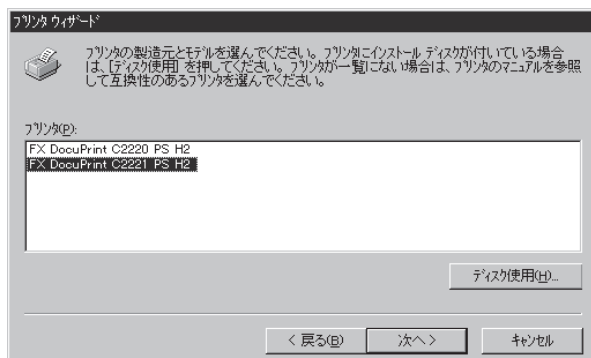
- ここでは、CD-ROM のドライブ名を「x:」として説明しています。CD-ROM をセットしたドライブ名を指定してください。
- [参照...] をクリックして、CD-ROM 内の「win9x」フォルダーを指定することもできます。



プリンターを選択する画面が表示されます。

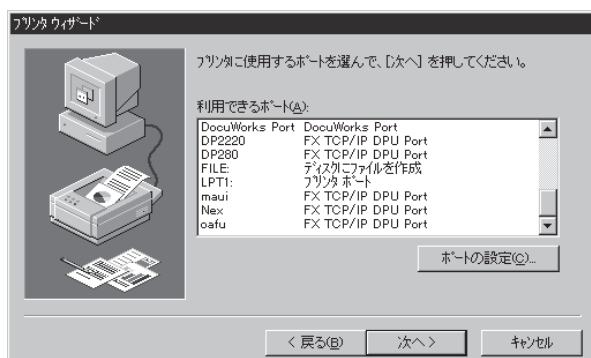
- ⑨ [FX DocuPrint C2220 PS H2] または、[FX DocuPrint C2221 PS H2] を選択して、[次へ>] をクリックします。

ここでは、[FX DocuPrint C2221 PS H2] の例で説明します。



ポートを選択する画面が表示されます。

- ⑩ 使用するポートを選択し、[次へ>] をクリックします。



プリンター名と通常使うプリンターを指定する画面が表示されます。

- 11 プリンター名を入力し、通常使うプリンターに設定するかどうかを設定して、[次へ>] をクリックします。



テストページの印刷を指定する画面が表示されます。

- 12 [はい] または [いいえ] を選択して、[完了] をクリックします。



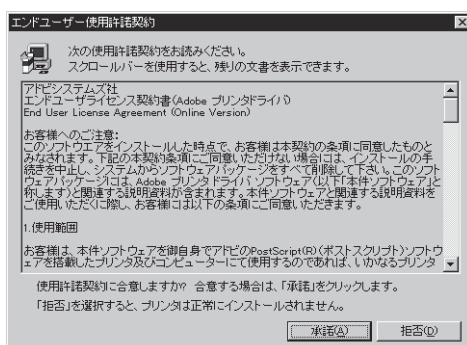
必要なファイルのコピーが開始されます。

コピーが終了すると、[エンドユーザー使用許諾契約] ダイアログボックスが表示されます。

- 13 「エンドユーザー使用許諾契約」を読み、[承諾] をクリックします。

参照

[拒否] をクリックした場合は、次ページの「エンドユーザー使用許諾契約で [拒否] を選択した場合」を参照してください。



- ⑭ [プリンタ] ウィンドウに、プリンターが追加されたことを確認します。



これで、プリンタードライバーのインストールが終了しました。CD-ROMを取り出してください。

続けて、「4.3 プリンタードライバーのプロパティ」(P.26)を参照して、プリンターの設定をしてください。

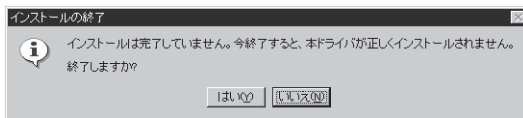
注記

- 使用した CD-ROM は、大切に保管してください。
- プリンタードライバーをインストールしていないプリンターがコンピューターにローカル接続されている場合、Plug and Play機能によって、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me の起動時に「新しいデバイスが検出されました」というポップアップウィンドウが表示されることがあります。

この場合、AdobePS4.3J をインストールしても、このポップアップウィンドウは Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me の起動時に必ず表示されます。この表示を出さないようにするためには、ポップアップウィンドウによってドライバーのインストールが促されたときに、[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選択して、「CentreWare ドライバー & ネットワークユーティリティ」の CD-ROM を使って ART EX ドライバーをインストールしてください。ART EX プリンタードライバーのインストールについては、『DocuPrint C2220/2221取扱説明書』の「第2章 プリンタードライバーのインストール」を参照してください。

●●● エンドユーザー使用許諾契約で [拒否] を選択した場合

[エンドユーザー使用許諾契約] ダイアログボックスで [拒否] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

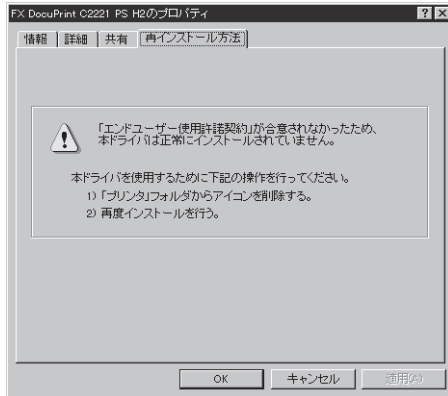


[いいえ] をクリックすると、手順 ⑭ に戻るなので、操作を続けてください。

[はい] をクリックすると、インストールが中断されます。[プリンタ] ウィンドウにプリンターが追加されますが、プリンタードライバーは正しくインストールされていません。

そのプリンターアイコンを選択し、メニューの [プロパティ] を選択すると、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスに、以下のような [再イン

ストール方法」タブが追加されます。タブ内の指示に従ってください。



再インストールが終了したら、続けて、「4.3 プリンタードライバーのプロパティ」(P.26)を参照して、プリンターの設定をしてください。

4.3

プリンタードライバーの プロパティ

プリンタードライバーのプロパティで設定する項目のうち、本機固有の以下の項目について説明します。以下の項目については、オンラインヘルプでも確認できます。

- [カラー設定] タブ
- [初期設定] タブ
- [プリンタ構成] タブ
- [出力設定] タブ
- [CentreWare] タブ

参照

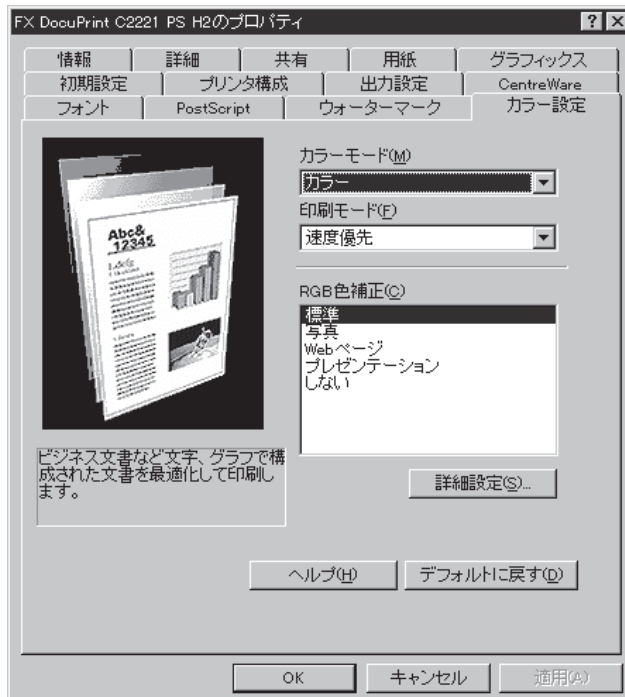
ヘルプの使い方については、「4.4 オンラインヘルプの使い方」(P.36)を参照してください。プリンタードライバーのプロパティを表示するには、[プリンタ] ウィンドウでプリンタアイコンを選択して、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

補足

[CentreWare] タブは、CentreWare がインストールされている場合に表示されます。

4.3.1 [カラー設定] タブの設定

[カラー設定] タブで設定する項目について説明します。



補足

[デフォルトに戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

●●● [カラーモード]

カラーモードを指定して印刷できます。[カラー] [白黒] から選択します。変更の結果は、左側のイメージで確認できます。

[白黒] は、K (ブラック) トナーだけを使用して、白黒で印刷します。

●●● [印刷モード]

印刷処理時間と画質のどちらかを優先して印刷できます。印刷処理時間が長くても、より高画質で印刷したい場合は [画質優先] を、画質を落としても早く印刷したい場合は [速度優先] を選択します。[標準] は、[画質優先] と [速度優先] の中間モードです。

●●● [RGB 色補正]

RGB 色補正を設定します。[カラーモード] で、[白黒] を指定すると、RGB 色補正は設定できません。

[標準]

ビジネス文書など文字、グラフで構成された文書を最適化して印刷します。

[写真]

写真やグラデーションをより美しく再現して印刷します。RGB で表現される画像に適しています。

[Web ページ]

Web ページなどディスプレイ表示を印刷したい場合に効果的です。

[プレゼンテーション]

プレゼンテーション資料など色をあざやかに印刷したい場合に効果的です。

[しない]

RGB 色補正をしません。

●●● [詳細設定]

クリックすると、詳細設定ダイアログボックスが表示されます。[詳細設定] ダイアログボックスでは、スクリーン、グレイ保証、RGB ガンマ補正の設定ができます。

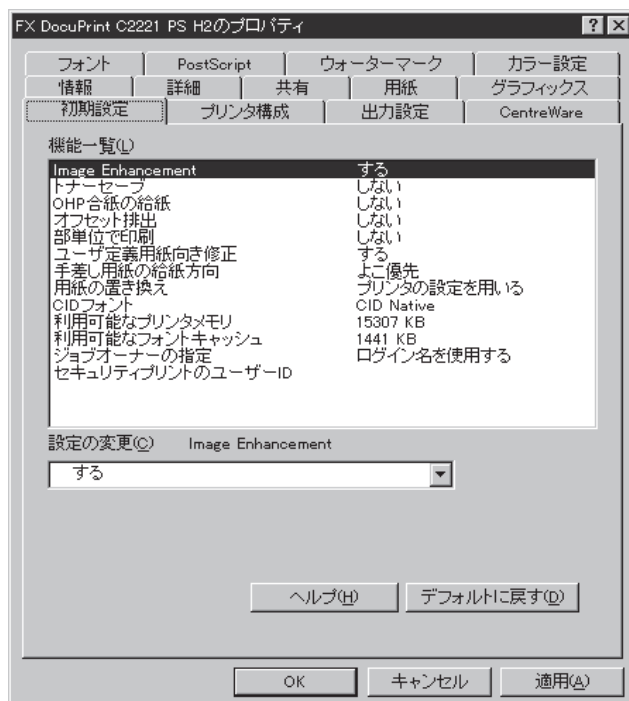
補足

[グラフィックス] タブの [カラー制御] で、[Image Color Matching を使用] または [常に Image Color Matching を使用] を選択している場合、[カラー設定] タブの項目は設定できません。[グラフィックス] タブの [カラー制御] は、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000 の場合に [色の管理] タブで ICC プロファイルを関連づけたときにだけ表示されます。

4.3.2 [初期設定] タブの設定

[初期設定] タブで設定する項目について説明します。

[機能一覧] で設定したい項目を選択して、その下にある [設定の変更] で設定を変更します。



補足

[デフォルトに戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

●●● 機能一覧

[Image Enhancement]

Image Enhancement 機能を使用するかどうかを設定します。[する] に設定すると、印刷全面のエッジ部が滑らかに印刷されます。なお、粗い網点で構成されたイメージ(ビットマップ)を印刷すると、滑らかな階調再現ができない場合があります。この場合は、[しない] に設定してください。

[トナーセーブ]

トナーセーブ機能を使用するかどうかを設定します。[する] に設定すると、トナーの消費量を少なくして印刷するため、色が全体的に薄くなります。画質にこだわらず、ドラフト原稿などを印刷する場合に適しています。

【OHP 合紙の給紙】

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の給紙先を設定します。

以下の設定をしている場合、OHP 合紙機能は使用できません。

- ・[用紙] タブの [給紙方法] で、[手差し] 以外を選択している場合
- ・[用紙] タブの [用紙の種類] で、[OHP フィルム] 以外を選択している場合

【オフセット排出】

ジョブ(印刷指示)/部(セット)単位に排出位置をずらして用紙を排出します。直前のジョブ/部の排出位置が手前ならば、次は奥にずらして排出します。[プリンタ構成] タブの [オプション排出トレイ] で [オフセットキャッチトレイ] が設定されたときに使用できます。

【部単位で印刷】

複数ページのファイルを、部単位で印刷することができます。この機能は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合で、[プリンタ構成] タブの [内蔵ハードディスク] を、[あり] に設定したときに使用できます。

【ユーザ定義用紙向き修正】

ユーザ定義用紙に印刷する場合に、用紙の向きを修正するかどうかを設定します。ユーザ定義用紙に印刷したときに、この用紙に対して印刷結果の向きが90度回転してしまった場合には、この設定をしてください。

【手差し用紙の給紙方向】

用紙トレイ5(手差し)にセットする用紙の縦横の方向を設定します。用紙の短辺をトレイにあわせてセットする場合は [よこ優先]、用紙の長辺をあわせてセットする場合は [たて優先] に設定します。

【用紙の置き換え】

印刷するサイズ of 用紙がプリンターにないときの動作の設定をします。選択できる項目は、次のとおりです。

【プリンタの設定を用いる】

プリンター本体の設定を使用します。設定については、プリンター本体の操作パネルで確認してください。

【用紙補給を表示する】

プリンター本体の操作パネルに、用紙補給のメッセージを表示します。用紙が補給されるまで印刷されません。

【近いサイズを用いる(縮小/等倍)】

最も近いサイズの用紙を選択して印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

【近いサイズを用いる(等倍)】

最も近いサイズの用紙に等倍で印刷します。

【大きいサイズを用いる(縮小/等倍)】

次に大きな用紙に等倍で印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

[大きいサイズを用いる (等倍)]

次に大きな用紙に等倍で印刷します。

[CID フォント]

プリンター側でCIDフォントのみを扱うモードにするか、OCFフォントも使用できるようにするかを設定します。

[CID Native]

CIDフォントのみを扱うモードです。

[OCF Compatible]

CIDフォントとOCFフォント両方使用できます。

[利用可能なプリンタメモリ]

利用可能なプリンタメモリの数値 (KB) を、エディットボックスに入力します。通常は変更の必要はありません。

[利用可能なフォントキャッシュ]

利用可能なフォントキャッシュの数値 (KB) を、エディットボックスに入力します。通常は変更の必要はありません。

[ジョブオーナーの指定]

プリントジョブの集計機能を使用するとき使用されるジョブオーナー名を指定します。

[ログイン名を使用する]

ジョブオーナー名として、Windowsのログイン名が使用されます。ジョブオーナー名は、「ログインユーザー名¥ホスト名」となります。ログイン名の最大文字数は、31バイト相当 (半角で31文字、全角で15文字) までです。31バイトを超える場合は、31バイトまで有効となります。

[オーナー名を入力する]

ジョブオーナー名を任意に指定したい場合を選択します。下に表示される [ジョブオーナー名] に、任意のジョブオーナー名を入力します。ジョブオーナー名の最大文字数は、31バイト相当 (半角で31文字、全角で15文字) までです。31バイトを超える場合は、31バイトまで有効となります。

[セキュリティプリントのユーザー ID]

セキュリティプリントする場合の [ユーザー ID] と [暗証番号] を指定します。

[ユーザー ID]

セキュリティプリント時のユーザー ID を指定します。入力できる文字数は、半角英数字および半角カタカナで8文字までです。

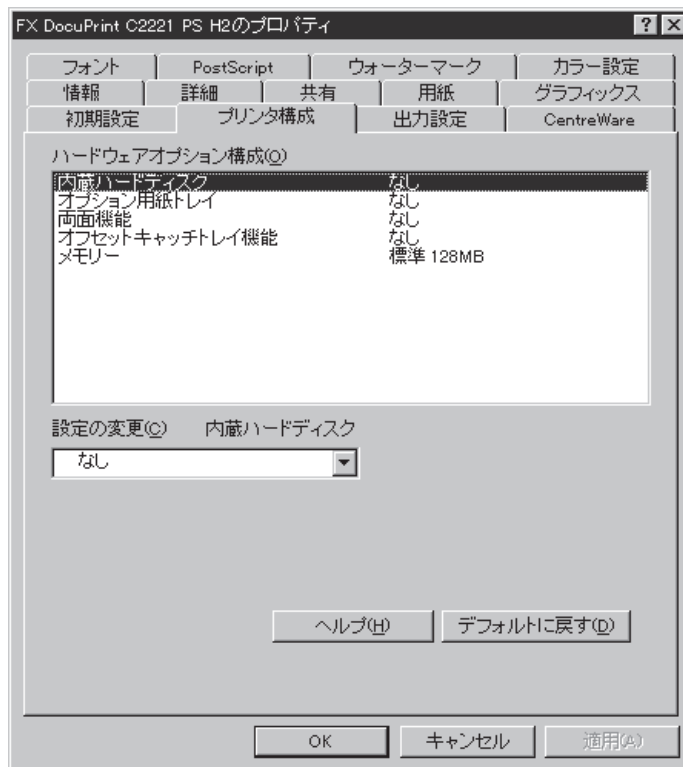
[暗証番号]

セキュリティプリント時の暗証番号を指定します。入力できる文字数は、半角数字で4文字までです。

4.3.3 [プリント構成] タブの設定

[プリント構成] タブで設定する項目について説明します。

[ハードウェアオプション構成] で設定したい項目を選択して、その下にある [設定の変更] で設定を変更します。本機の機能を使って印刷するために、このタブの項目を必ず正しい設定にする必要があります。



補足

[デフォルトに戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

●●● ハードウェアオプション構成

[内蔵ハードディスク]

内蔵増設ハードディスク装置の有無を指定します。

本機に内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合は、[あり] に設定します。[あり] に設定すると、[初期設定] タブの [部単位で印刷] の項目が設定できるようになります。

[オプション用紙トレイ]

本機に装着されているオプション用紙トレイの有無と種類を設定します。

[なし] [1トレイユニット] [3トレイユニット] [3トレイユニット(大容量)] から選択します。

[両面機能]

両面機能の有無を設定します。

本機に両面機能がある場合は、[あり] に設定します。[あり] に設定すると、[用紙] タブで [両面印刷] の項目が選択できるようになります。

[オフセットキャッチトレイ]

オフセットキャッチトレイの有無を指定します。

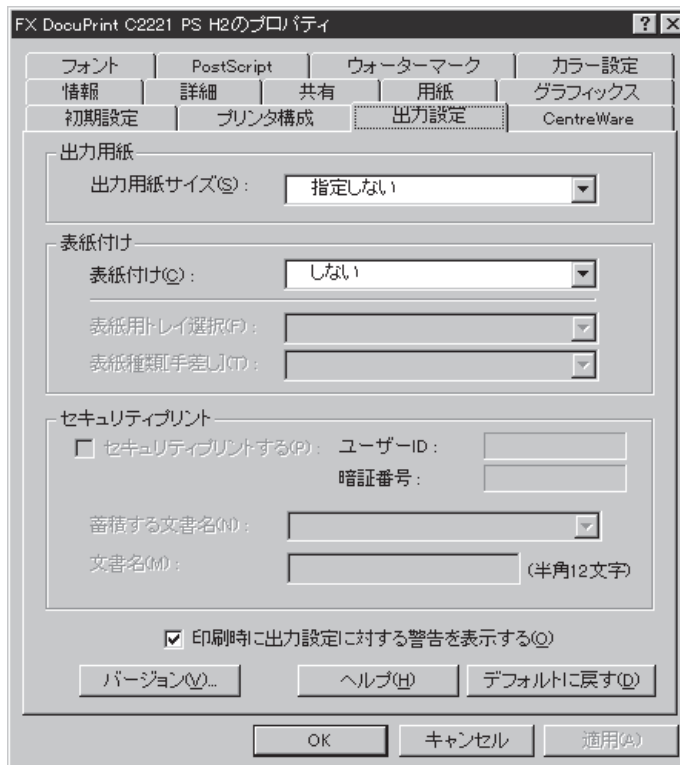
本機にオフセットキャッチトレイが装着されている場合は、[あり] に設定します。[あり] に設定すると、[初期設定] タブの [オフセット排出] が設定できるようになります。

[メモリー]

本機のメモリー容量は、128MB のため、[標準 128MB] 固定です。

4.3.4 [出力設定] タブの設定

[出力設定] タブで設定する項目について説明します。

**補足**

[デフォルトに戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

●●● 出力用紙

[出力用紙サイズ]

実際に出力する用紙サイズを設定します。[用紙] タブの [用紙サイズ] で選択された用紙サイズをここで設定する用紙サイズに合わせて、自動的に拡大/縮小します。例えば、[用紙] タブの [用紙サイズ] で [B5] を選択し、[出力設定] タブの [出力用紙サイズ] で、[A4] を選択すると、自動的に A4 サイズに合わせて、拡大して印刷します。[指定しない] に設定した場合、アプリケーション側で指定した用紙サイズが使用されます。

●●● 表紙付け

表紙を付ける設定をします。

[表紙付け]

どのように表紙を付けるか設定します。[する(表紙へ印刷する)] を選択すると、[表紙用トレイ選択] で指定したトレイの用紙を、最初のページに使用します。[する(表紙への印刷はしない)] を選択すると、[表紙用トレイ選択] で指定したトレイの用紙を1枚白紙出力した後に、印刷データの印刷を行います。

[表紙用トレイ選択]

表紙として使用する用紙が入っているトレイを指定します。

[用紙種類 [手差し]]

[表紙用トレイ選択] で [手差し] を選択した場合、手差しトレイにセットする用紙種類を指定します。

●●● セキュリティプリント

印刷指示したジョブを、プリンター内に一時的に蓄積させ、プリンター側での指示で出力させる機能です。先に、[初期設定] タブの [セキュリティプリントのユーザー ID] の設定をしてください。

[セキュリティプリントする]

セキュリティプリントする場合にオンにします。

[蓄積する文書名]

文書名の指定方法を設定します。[自動取得] の場合、文書名は半角英数/半角カタカナで12文字までです。

[文書名]

[蓄積する文書名] ドロップダウンボックスで、[文書名を入力する] を選択した場合に、文書名を入力します。半角英数または半角カタカナで12文字まで入力できます。

●●● 印刷時に出力設定に対する警告を表示する

以下の場合、印刷時に出力用紙サイズの競合ダイアログボックスを表示します。表示内容を確認して、競合している機能を解消し、印刷を行うことができます。

- ・印刷時に、[出力用紙サイズ] や [表紙付け] の設定値と、他項目の設定値が整合しているか

- ・[プリンタ構成] タブの[内蔵ハードディスク] が[なし] の時に[セキュリティプリントする] がオンになっていないか

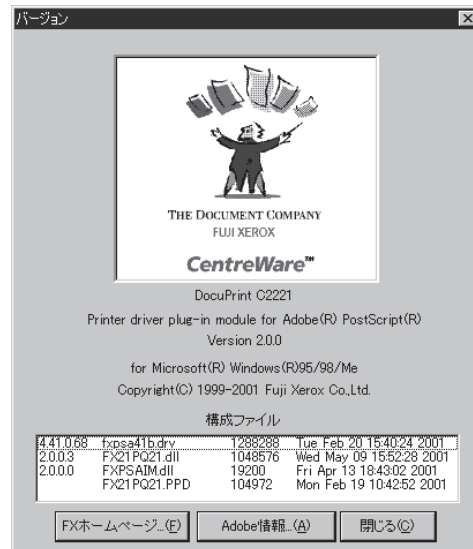
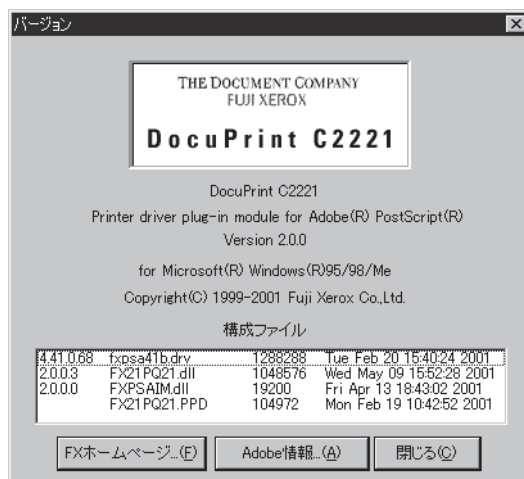
オフにすると、出力用紙サイズの競合ダイアログボックスを表示せずに、競合している設定を自動的に解消して印刷します。

●●● [バージョン] ボタン

ドライバーのバージョンを表示します。またブラウザを起動し、富士ゼロックス株式会社のホームページ内のドライバーダウンロードサービスページを表示させることもできます。

表示するアドレスは、「<http://download.fujixerox.co.jp/>」です。

CentreWareネットワークサービスがインストールされている場合は、右側の画面となります。



4.3.5 [CentreWare] タブの設定

[CentreWare] タブで設定する項目について説明します。



補足

- [CentreWare] タブは、CentreWare がインストールされている場合に表示されます。
- [デフォルトに戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

●●● ドキュメントモニターを使用する

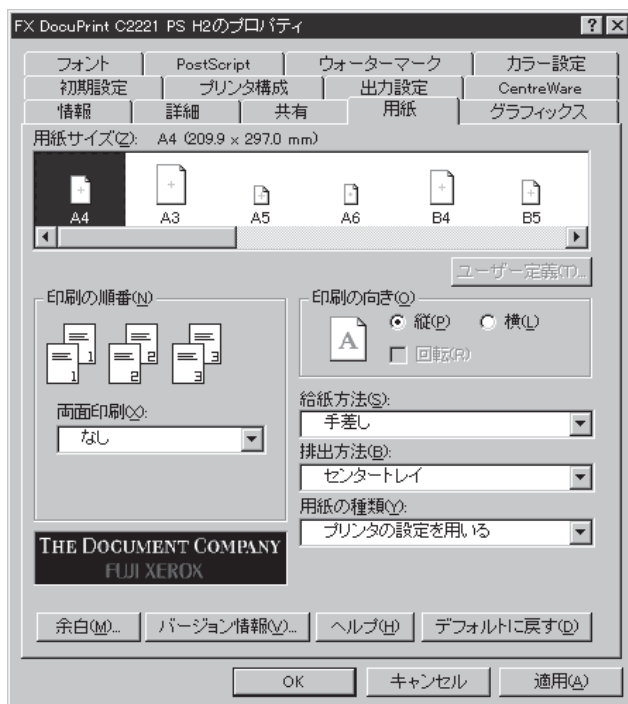
CentreWareのドキュメントモニターを使用するかしないかの設定をします。使用する場合には、[ドキュメントモニターを使用する] チェックボックスをオンにします。

4.4 オンラインヘルプの使い方

オンラインヘルプの使い方は、以下のとおりです。

操作手順

- ① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスには、右上の **?**、または右下の [ヘルプ] があります。



- ② **?** をクリックすると、マウスポインターの横に?マークの表示が現れます。その状態で、説明を見たい項目をクリックすると、ポップアップウィンドウが表示されて、その項目に関するヘルプ情報が表示されます。ウィンドウ内をクリックすると、ポップアップウィンドウが消えます。

また、[ヘルプ] をクリックした場合は、開いているタブの説明がヘルプ情報として表示されます。

5章

Windows NT[®] 4.0 での操作

5.1	ソフトウェアについて	38
5.1.1	付属のソフトウェア	38
5.1.2	必要なハードウェア/ソフトウェア環境	39
5.2	AdobePS ドライバーのインストール	40
5.2.1	インストール方法	40
5.3	デバイスオプションとドキュメントの既定値について	45
5.3.1	[デバイスの設定] タブの設定	45
5.3.2	[初期設定] タブの設定	47
5.3.3	[詳細] タブの設定	48
5.3.4	[出力設定] タブの設定	51
5.3.5	[CentreWare] タブの設定	52
5.3.6	[バージョン情報] タブの設定	53
5.4	オンラインヘルプの使い方	54

5.1 ソフトウェアについて

CD-ROM (PostScript® Driver Library) に入っている、Windows NT® 4.0用のソフトウェアについて説明します。

5.1.1 付属のソフトウェア

付属のCD-ROMの中で、Windows NT® 4.0から本機で印刷する場合に必要なものは、以下のとおりです。

「nt40」フォルダー

日本語版のAdobe社製PostScript Driver (5.1.2J)に、弊社の機能を追加したプリンタードライバーとPPDファイルが入っています。ジョブオーナー名を指定する場合や、CentreWareのプリンターモニター機能などを使用する場合は、必ずこのプリンタードライバーをインストールしてください。

「ppd」フォルダー

日本語版と英語版のPPDファイルが入っています。アプリケーションなどにPPDファイルを追加するときに使用してください。

「Ps3_fnts」フォルダー

プリンターフォントに対応した、スクリーンフォント136書体(TrueType形式の19書体とType1形式の117書体)が入っています。ただし、Windows NT® 4.0日本語版ではType1形式のフォントは利用できません。

「TrueType (Core OS) fonts」フォルダーに、TrueTypeフォント19書体が入っています。

readme ファイル

プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されています。必ずお読みください。また、各フォルダー内の「readme.txt」や「fxreadme.txt」にも、プリンタードライバーを使用するための注意事項が記載されています。必ずお読みください。

5.1.2 必要なハードウェア / ソフトウェア環境

Windows NT® 4.0用プリンタードライバーの動作環境は、以下のとおりです。

コンピューター本体

- Windows NT® 4.0が動作する、IBM PC/ATおよびその互換機とPC-9800シリーズ

基本ソフトウェア

- Windows NT® Workstation 4.0 Service Pack 4以降 日本語版
- Windows NT® Server 4.0 Service Pack 4以降 日本語版

5.2 AdobePS ドライバーのインストール

Adobe社製Printer Driver (AdobePS5.1.2J)をインストールします。ここでは、DocuPrint C2221を例にインストール操作の手順を説明します。

補足

インストール時に表示されるダイアログボックス内の[キャンセル]をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、[戻る]をクリックすると、そのダイアログボックスの設定を取り消して1つ前のダイアログボックスに戻ることができます。

5.2.1 インストール方法

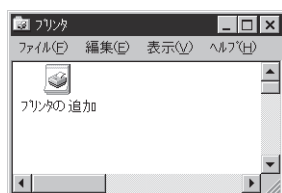
操作手順

- 1 Windows NT® 4.0を立ち上げます。

補足

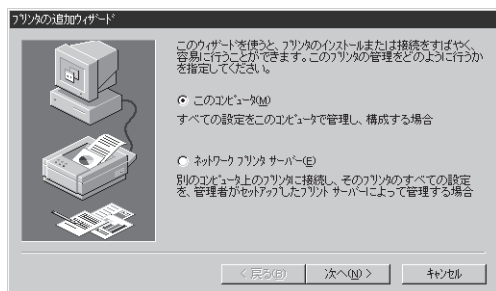
「Power User」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Power User」グループの詳細については、Windows NT® 4.0に付属の説明書を参照してください。

- 2 [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックします。
[プリンタ]ウィンドウが表示されます。
- 3 [プリンタの追加]を開きます。



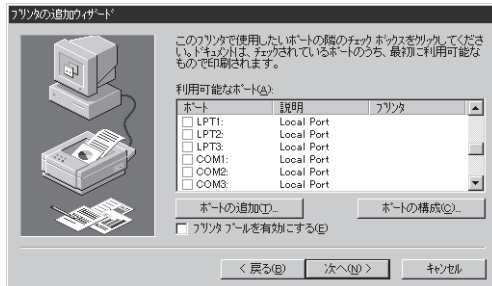
「プリンタの追加」ウィザードが起動します。

- 4 プリンターの管理方法を選択し、[次へ>]をクリックします。
プリンターが直接コンピューターに接続されているときは[このコンピューター]を選択します。それ以外の場合は[ネットワークプリンタサーバー]を選択し、[プリンタの接続]ダイアログボックスで対象プリンターを設定します。



ポートを選択する画面が表示されます。

- ⑤ 使用するポートを選択し、[次へ >] をクリックします。



プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

- ⑥ 「PostScript® Driver Library」の CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。
- ⑦ [ディスク使用] をクリックします。

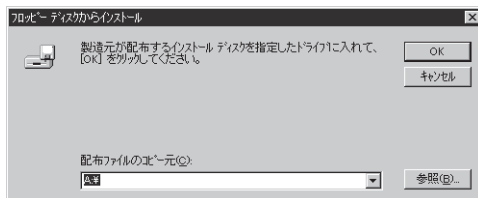


[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。

- ⑧ 「x: ¥winnt40」と入力し、[OK] をクリックします。

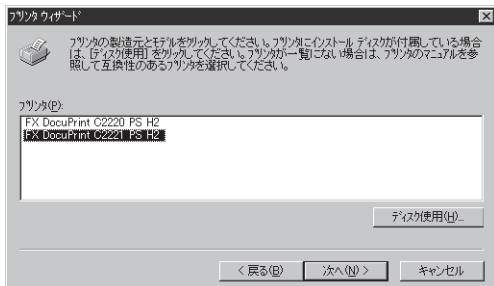
補足

- ここでは、CD-ROM のドライブ名を「x:」として説明しています。CD-ROM をセットしたドライブ名を指定してください。
- [参照 ...] をクリックして、CD-ROM 内の「nt40」フォルダーを指定することもできます。



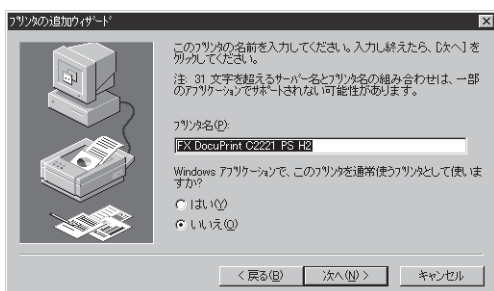
プリンターを選択する画面が表示されます。

- 9 [プリンタ]一覧の中から、[FX DocuPrint C2220 PS H2] または、[FX DocuPrint C2221 PS H2] を選択して、[次へ >] をクリックします。
ここでは、[FX DocuPrint C2221 PS H2] の例で説明します。



プリンター名と通常使うプリンターを指定する画面が表示されます。

- 10 プリンター名を入力し、通常使うプリンターに設定するかどうかを設定して、[次へ >] をクリックします。

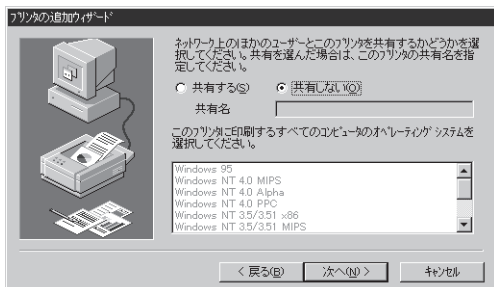


プリンターの共有を設定する画面が表示されます。

- 11 ここでは、[共有しない] を選択し、[次へ >] をクリックします。

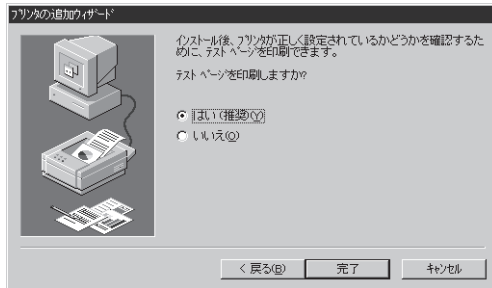
注記

各クライアントへのインストールは各OS用の手順で、クライアントごとにインストールすることをお勧めします。



テストページの印刷を指定する画面が表示されます。

- 12 [はい] または [いいえ] を選択して、[完了] をクリックします。

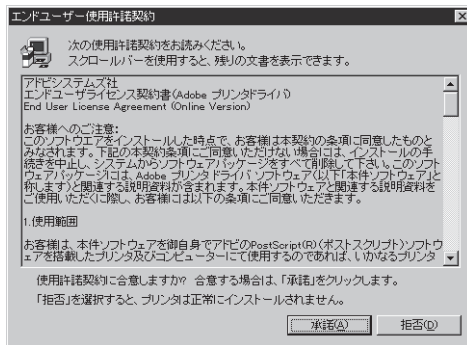


必要なファイルのコピーが開始されます。
コピーが終了すると、[エンドユーザー使用許諾契約] ダイアログボックスが表示されます。

- 13 「エンドユーザー使用許諾契約」を読み、[承諾] をクリックします。

参照

[拒否] をクリックした場合は、次ページの「エンドユーザー使用許諾契約で [拒否] を選択した場合」を参照してください。



- 14 [プリンタ] ウィンドウに、プリンターが追加されたことを確認します。



これで、プリンタードライバーのインストールが終了しました。CD-ROMを取り出してください。

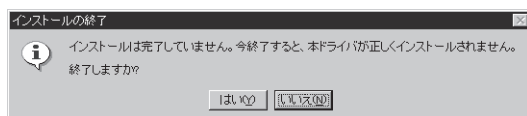
続けて、「5.3 デバイスオプションとドキュメントの既定値について」(P.45)を参照して、プリンターの設定をしてください。

注記

使用した CD-ROM は、大切に保管してください。

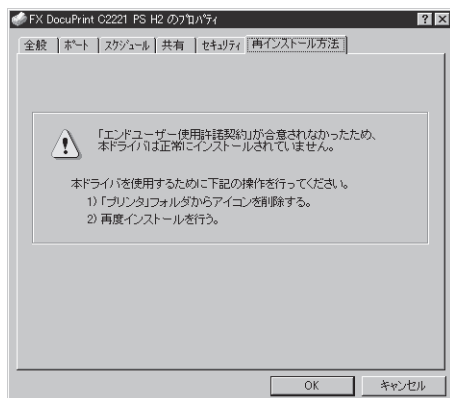
●●● エンドユーザー使用許諾契約で [拒否] を選択した場合

[エンドユーザー使用許諾契約] ダイアログボックスで [拒否] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。



[いいえ] をクリックすると、手順 ⑬ に戻るなので、操作を続けてください。
[はい] をクリックすると、インストールが中断します。[プリンタ] ウィンドウにプリンターが追加されますが、プリンタードライバーは正しくインストールされていません。

そのプリンターアイコンを選択し、メニューの [プロパティ] を選択すると、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスに、次のような [再インストール方法] タブが追加されます。タブ内の指示に従ってください。



再インストールが終了したら、続けて、「5.3 デバイスオプションとドキュメントの既定値について」(P.45)を参照して、プリンターの設定をしてください。

5.3 デバイスオプションと ドキュメントの既定値について

プリンタードライバーのプロパティまたはドキュメントの既定値で設定する項目のうち、本機固有の以下の項目について説明します。これ以外の項目については、ヘルプを参照してください。

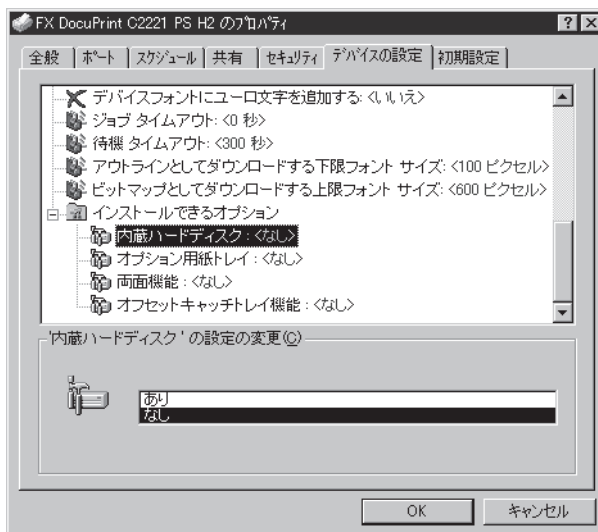
- [デバイスの設定] タブ
- [初期設定] タブ
- [詳細] タブの [プリンタの機能] の本機固有の部分
- [出力設定] タブ
- [CentreWare] タブ
- [バージョン情報] タブ

参照

ヘルプの使い方については、「5.4 オンラインヘルプの使い方」(P.54)を参照してください。

5.3.1 [デバイスの設定] タブの設定

[デバイスの設定] タブの [インストールできるオプション] について説明します。正しく印刷するために、このタブの設定は、必ず正しい内容にする必要があります。



操作手順

- ① [スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。
- ② プリンターアイコンを選択し、[プリンタ] メニューの [プロパティ] を選択します。
- ③ [デバイスの設定] タブをクリックします。

- ④ [インストールできるオプション]で設定したい項目を選択して、その下の [設定の変更] で設定を変更します。
- ⑤ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

●●● インストールできるオプション

[インストールできるオプション] で設定する項目について説明します。

[内蔵ハードディスク]

内蔵増設ハードディスク装置の有無を指定します。本機に内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合は、[あり]に設定します。[部単位で印刷]の項目が設定できるようになります。

[オプション用紙トレイ]

本機に装着されているオプション用紙トレイの有無と種類を設定します。
[なし] [1トレイユニット] [3トレイユニット] [3トレイユニット(大容量)]
から選択します。

[両面機能]

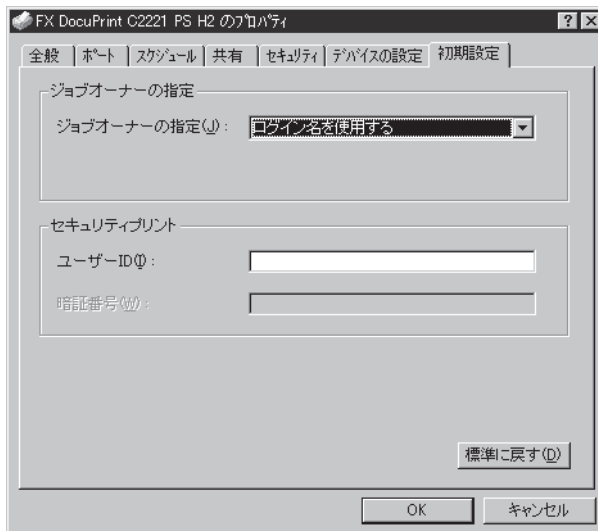
両面機能の有無を設定します。
本機に両面機能がある場合は、[あり]に設定します。[あり]に設定すると、[両面印刷]の項目が選択できます。

[オフセットキャッチトレイ]

オフセットキャッチトレイの有無を指定します。
本機にオフセットキャッチトレイが装着されている場合は、[あり]に設定します。[あり]に設定すると、[オフセット排出]が設定できるようになります。

5.3.2 [初期設定] タブの設定

[初期設定] タブで設定する項目について説明します。



補足

[標準に戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

●● ジョブオーナーの指定

[ジョブオーナーの指定]

ジョブオーナーの指定方法を選択します。ジョブオーナーは、プリントジョブの集計機能を使用するとき使用されます。

[ログイン名を使用する]

ジョブオーナー名として、Windows のログイン名が使用されます。ジョブオーナー名は、「ログインユーザー名 ¥ ホスト名」になります。ログイン名の最大文字数は、31 バイト相当 (半角で 31 文字、全角で 15 文字) です。31 バイトを超える場合は、31 バイトまでが有効になります。

[オーナー名を入力する]

ジョブオーナー名を任意に指定したい場合に選択します。下に表示される [ジョブオーナー名] に、任意のジョブオーナー名を入力します。入力できる文字数は、31 バイト相当 (半角で 31 文字、全角で 15 文字) までです。31 バイトを超える場合は、31 バイトまで有効となります。初期値は、「UnknownUser」です。

●●● セキュリティプリント

プリント出力指示を、プリンター内に一時的に蓄積させ、プリンター側での指示で出力させる機能です。暗証番号を付けてセキュリティをかけることもできます。

[ユーザー ID]

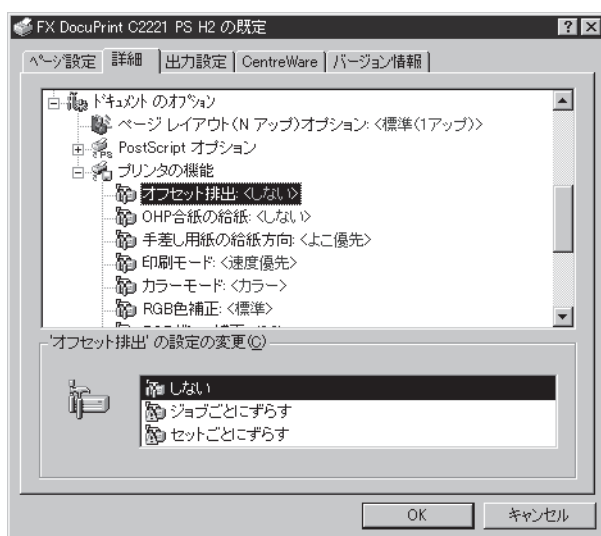
セキュリティプリントするときのユーザー ID を入力します。入力できる文字数は、半角英数字および半角カタカナで8文字（8バイト）までです。

[暗証番号]

セキュリティプリントするときの暗証番号を入力します。入力できる文字数は、半角数字4文字（4バイト）までです。

5.3.3 [詳細] タブの設定

[詳細] タブの [プリンタの機能] の設定手順について説明します。



操作手順

- ① [スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。
- ② プリンターアイコンを選択し、[プリンタ] メニューの [ドキュメントの既定値] を選択します。
- ③ [詳細] タブをクリックします。
- ④ [プリンタの機能] で設定したい項目を選択して、その下の [設定の変更] で設定を変更します。

●●● プリンタの機能

[プリンタの機能] で設定する項目について説明します。

[オフセット排出]

ジョブ(印刷指示)/部(セット)単位に位置をずらして用紙を排出することを、「オフセット排出」といいます。直前のジョブ/部の排出位置が手前ならば、次は奥にずらして排出されます。ただし[用紙/出力]の[用紙サイズ]の設定によっては、オフセット排出機能は使用できません。

[OHP 合紙の給紙]

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の給紙先を設定します。

[手差し用紙の給紙方向]

用紙トレイ5(手差し)にセットする用紙の縦横の方向を設定します。用紙の短辺をトレイにあわせてセットする場合は[よこ優先]、用紙の長辺をあわせてセットする場合は[たて優先]に設定します。

[印刷モード]

印刷するときに、速度を優先するか、画質を優先するかが指定できます。[標準]に対して、[速度優先]は、速度を優先して印刷し、[画質優先]は、画質を優先して印刷します。

[カラーモード]

カラーモードを指定して印刷できます。[カラー] [白黒] から選択します。[白黒]は、K(ブラック)トナーだけを使用して、白黒で印刷します。

[RGB 色補正]

RGB色補正を設定します。[カラーモード]で、[白黒]を指定すると、RGB色補正はできません。

[標準]

ビジネス文書など文字、グラフで構成された文書を最適化して印刷します。

[写真]

写真やグラデーションをより美しく再現して印刷します。RGBで表現される画像に適しています。

[Web ページ]

Web ページなどディスプレイ表示を印刷したい場合に効果的です。

[プレゼンテーション]

プレゼンテーション資料など色をあざやかに印刷したい場合に効果的です。

[しない]

RGB 色補正をしません。

[RGB ガンマ補正]

RGB ガンマ補正機能を使用すると、原稿全体の明るさが変化します。お使いのディスプレイに合わせて選択してください。数値が大きくなるほど暗く印刷されます。初期値は、[2.2]です。[RGB色補正]を[しない]に設定している場合は、RGBガンマ補正機能は使用できません。

[スクリーン]

画質調整が行われます。[階調優先]に設定すると、写真やグラデーションがより美しく再現されます。[精細度優先]に設定すると、図、表、グラフの色むらを抑えたきれいな印刷ができます。

[Image Enhancement]

印刷時に白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、擬似的に解像度を高めることができます。

[トナーセーブ]

トナーの消費量を少なくする印刷を行います。
この機能を使用すると、全体的に色が薄くなります。画質にこだわらないで、ドラフト原稿などを印刷するときに適しています。

[グレイ保証]

無彩色が黒一色で出力されます。イメージ部分には適用されません。

[ユーザ定義用紙向き修正]

ユーザ定義用紙に印刷する場合に、用紙の向きを修正するかどうかを設定します。ユーザ定義用紙に印刷したときに、その用紙に対して印刷結果の向きが90度回転してしまった場合には、この設定を[する]にしてください。

[用紙の置き換え]

印刷するサイズ of 用紙がプリンターにないときの動作の設定をします。
選択できる項目は、次のとおりです。

[プリンタの設定を用いる]

プリンター本体の設定を使用します。設定については、プリンター本体の操作パネルで確認してください。

[用紙補給を表示する]

プリンター本体の操作パネルに、用紙補給のメッセージを表示します。用紙が補給されるまで印刷されません。

[近いサイズを用いる (縮小 / 等倍)]

最も近いサイズの用紙を選択して印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

[近いサイズを用いる (等倍)]

最も近いサイズの用紙に等倍で印刷します。

[大きいサイズを用いる (縮小 / 等倍)]

次に大きな用紙に等倍で印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

【大きいサイズを用いる（等倍）】

次に大きな用紙に等倍で印刷します。

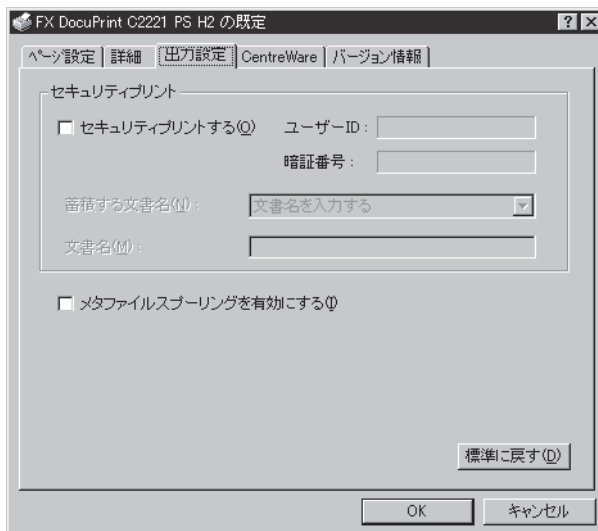
【CID フォント】

CID フォントについて設定します。

CID フォントだけを扱うモードにする場合は [CID Native]、CID フォントと OCF フォント両方扱うモードにする場合は [OCF Compatible] を選択します。

5.3.4 【出力設定】タブの設定

【出力設定】タブで設定する項目について説明します。表示方法は【詳細】タブと同様です。

**補足**

【標準に戻す】をクリックすると、初期値に戻すことができます。

●●● セキュリティプリント

【セキュリティプリントする】

セキュリティプリントする場合は、オンにします。先に【初期設定】タブの【セキュリティプリント】の【ユーザー ID】を設定してください。

【蓄積する文書名】

文書名の指定方法を設定します。【自動取得】の場合、文書名は半角英数 / 半角カタカナで 12 文字までです。

【文書名】

【蓄積する文書名】ドロップダウンボックスで、【文書名を入力する】を選択した場合に、文書名を入力します。入力できる文字数は、半角英数または半角カタカナで 12 文字（12 バイト）までです。

●●● メタファイルスプーリングを有効にする

[メタファイルスプーリングを有効にする]

印刷情報をディスクにスプールする形式を指定します。

チェックボックスをオンにすると、EMF(メタファイル)形式でスプールします。印刷処理から解放される時間が短くなります。

チェックボックスをオフにすると、RAW形式でスプールします。印刷情報の変換に時間がかかるため、印刷処理から解放される時間が長くなります。

オンにして問題が起きる場合は、オフにしてください。

5.3.5 [CentreWare] タブの設定

[CentreWare] タブで設定する項目について説明します。表示方法は [詳細] タブと同様です。



補足

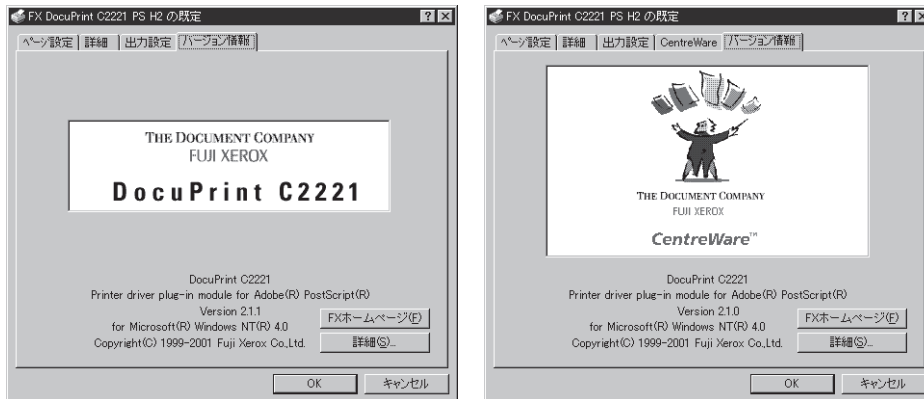
- [CentreWare] タブは、CentreWare がインストールされている場合に表示されます。
- [標準に戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

[ドキュメントモニターを使用する]

CentreWareのドキュメントモニターを、使用するかしないかを設定します。使用する場合は、[ドキュメントモニターを使用する] をオンにします。

5.3.6 [バージョン情報] タブの設定

[バージョン情報]タブについて説明します。表示方法は[詳細]タブと同様です。CentreWareネットワークサービスがインストールされている場合は、右側の画面となります。表示方法は[詳細表示]ダイアログボックスと同様です。



[FX ホームページ]

お使いのコンピューターのブラウザを起動し、富士ゼロックス株式会社のホームページ内のドライバーダウンロードサービスページを表示させます。このホームページから最新のプリンタードライバーなどをダウンロードできます。表示するアドレスは、「<http://download.fujixerox.co.jp/>」です。

[詳細]

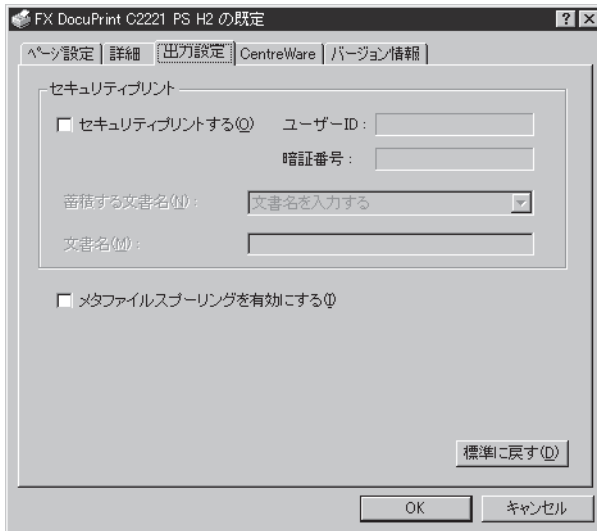
このボタンをクリックすると、[バージョン]ダイアログボックスが表示されません。ドライバーのファイルのバージョンを確認できます。

5.4 オンラインヘルプの使い方

オンラインヘルプの使い方は、以下のとおりです。

操作手順

- ① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの右上には、下図のように「？」があります。



- ② この「？」をクリックすると、マウスポインターの横に?マークの表示が現れます。その状態で、説明を見たい項目をクリックすると、ポップアップウィンドウが表示されて、その項目に関するヘルプ情報が表示されます。ウィンドウ内をクリックすると、ポップアップウィンドウが消えます。

6章

Windows® 2000 での操作

6.1	ソフトウェアについて	56
6.1.1	付属のソフトウェア	56
6.1.2	必要なハードウェア/ソフトウェア環境	57
6.2	プリンタードライバーのインストール	58
6.2.1	インストール方法	58
6.3	デバイスオプションと印刷設定について	64
6.3.1	[デバイスの設定] タブの設定	64
6.3.2	[初期設定] タブの設定	66
6.3.3	[詳細オプション] ダイアログボックスの設定	67
6.3.4	[カラー設定] タブの設定	69
6.3.5	[出力設定] タブの設定	71
6.3.6	[CentreWare] タブの設定	72
6.3.7	[バージョン情報] タブの設定	73
6.4	オンラインヘルプの使い方	74

6.1 ソフトウェアについて

CD-ROM (PostScript® Driver Library) に入っている、Windows® 2000用のソフトウェアについて説明します。

6.1.1 付属のソフトウェア

付属の CD-ROM の中で、Windows® 2000 から本機で印刷する場合に必要なものは、以下のとおりです。

「win2000」フォルダー

日本語版のMicrosoft 社製PostScript Driver に、弊社の機能を追加したプリンタードライバとPPDファイルが入っています。ジョブオーナー名を指定する場合や、CentreWareのドキュメントモニター機能などを使用する場合は、必ずこのプリンタードライバをインストールしてください。

「ppd」フォルダー

日本語版と英語版のPPDファイルが入っています。アプリケーションなどにPPDファイルを追加するときに使用してください。

「Ps3_fonts」フォルダー

プリンターフォントに対応した、スクリーンフォント136書体 (TrueType形式の19書体とType1形式の117書体) が入っています。ただし、Windows® 2000日本語版ではType1形式のフォントは利用できません。

「TrueType (Core OS) fonts」フォルダーに、TrueTypeフォント19書体が入っています。

readme ファイル

プリンタードライバを使用するための注意事項が記載されています。必ずお読みください。また、各フォルダー内の「readme.txt」や「fxreadme.txt」にも、プリンタードライバを使用するための注意事項が記載されています。必ずお読みください。

6.1.2 必要なハードウェア / ソフトウェア環境

Windows® 2000 用プリンタードライバーの動作環境は、以下のとおりです。

コンピューター本体

- Windows® 2000 が動作する、IBM PC/AT、およびその互換機と PC-9800 シリーズコンピューター

基本ソフトウェア

- Windows® 2000 Professional 日本語版
- Windows® 2000 Server 日本語版
- Windows® 2000 Advanced Server 日本語版

6.2 プリンタードライバーのインストール

日本語版の Microsoft 社製 Windows® 2000 用 PostScript Driver に、弊社の機能を追加したプリンタードライバーを、インストールします。

ここでは、DocuPrint C2221 を例に説明します。

補足

インストール時に表示されるダイアログボックス内の [キャンセル] をクリックすると、プリンタードライバーのインストールを中止できます。また、[戻る] をクリックすると、そのダイアログボックスの設定を取り消して1つ前のダイアログボックスに戻ることができます。

6.2.1 インストール方法

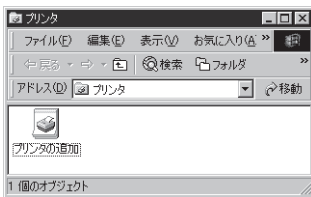
操作手順

- 1 Windows® 2000 を立ち上げます。

補足

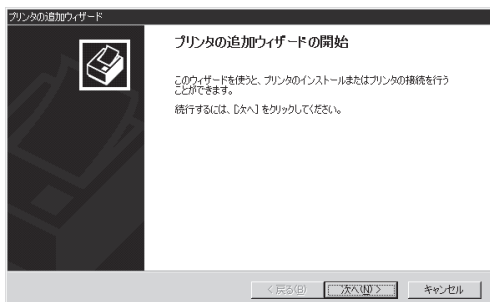
「Power User」グループメンバーのユーザー、または「Administrator」でログインしてください。「Power User」グループの詳細については、Windows® 2000 に付属の説明書を参照してください。

- 2 [スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。
[プリンタ] ウィンドウが表示されます。
- 3 [プリンタの追加] をダブルクリックします。



「プリンタの追加」ウィザードが起動します。

- 4 [次へ >] をクリックします。



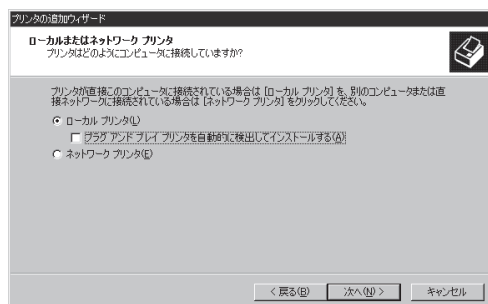
プリンターの接続方法を選択する画面が表示されます。

⑤ プリンターの接続方法を選択し、[次へ >] をクリックします。

プリンターが直接コンピューターに接続されているときは[ローカルプリンタ]を選択します。それ以外の場合は[ネットワークプリンタ]を選択します。

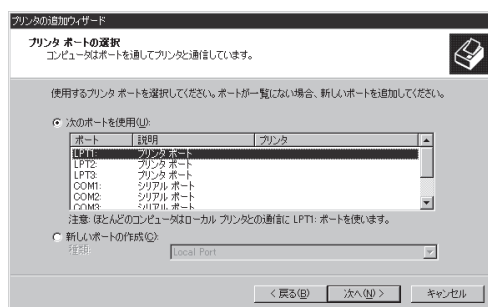
補足

- [ローカルプリンタ] を選択した場合は、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする] チェックボックスをオフにしてください。
- [ネットワークプリンタ] を選択した場合は、[プリンタの接続] ダイアログボックスで対象プリンターを設定します。



ポートを選択する画面が表示されます。

⑥ 使用するポートを選択し、[次へ >] をクリックします。



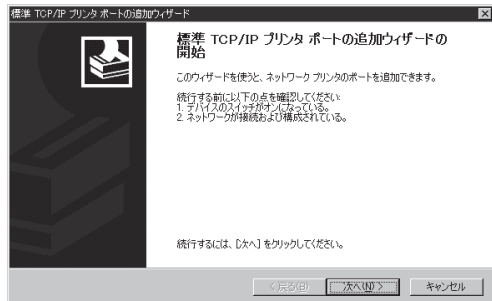
< LPR プロトコルを使用してプリンターに直接接続する場合 >

[新しいポートの作成] をクリックします。

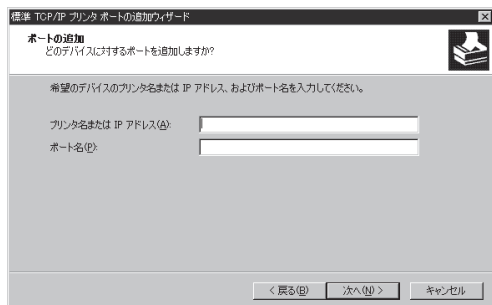
[種類] メニューから [Standard TCP/IP Port] を選択して、[次へ >] をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加」ウィザードが起動します。

[次へ >] をクリックします。

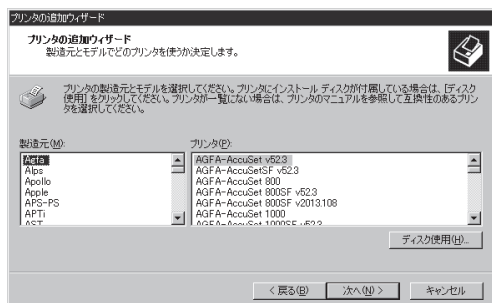


[プリンタ名またはIPアドレス] にプリンターのIPアドレスを入力して、[次へ >] をクリックします。



表示されるダイアログボックスで、[完了] をクリックします。
プリンターの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

- ⑦ 「PostScript® Driver Library」のCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットします。
- ⑧ [ディスク使用] をクリックします。

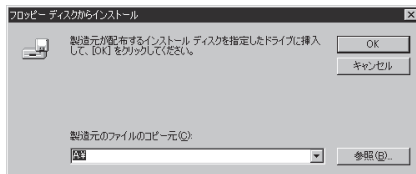


[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。

- ⑨ 「x: ¥ win2000」と入力し、[OK] をクリックします。

補足

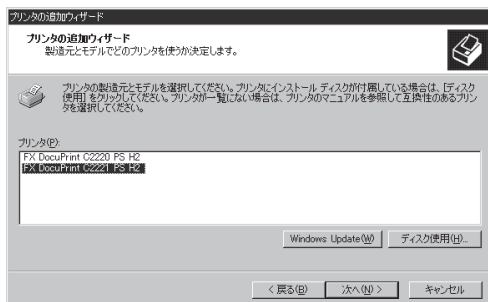
- ここでは、CD-ROMのドライブ名を「x:」として説明しています。CD-ROMをセットしたドライブ名を指定してください。
- [参照...] をクリックして、CD-ROM内の [Win2000] フォルダを指定することもできます。



プリンターを選択する画面が表示されます。

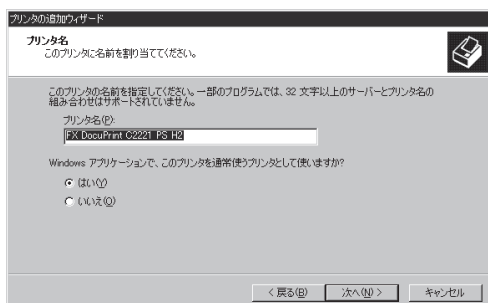
- ⑩ [FX DocuPrint C2220 PS H2] または、[FX DocuPrint C2221 PS H2] を選択して、[次へ >] をクリックします。

ここでは、[FX DocuPrint C2221 PS H2] をの例で説明します。



プリンター名と通常使うプリンターを指定する画面が表示されます。

- ⑪ プリンター名を入力し、通常使うプリンターに設定するかどうかを設定して、[次へ >] をクリックします。

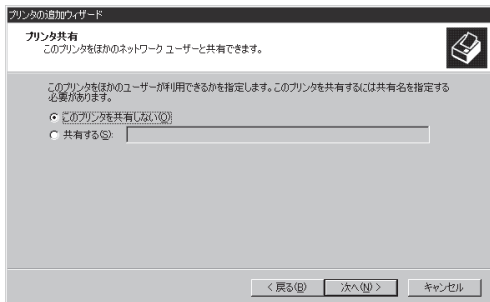


プリンターの共有を設定する画面が表示されます。

- 12 ここでは、[このプリンタを共有しない] を選択し、[次へ >] をクリックします。

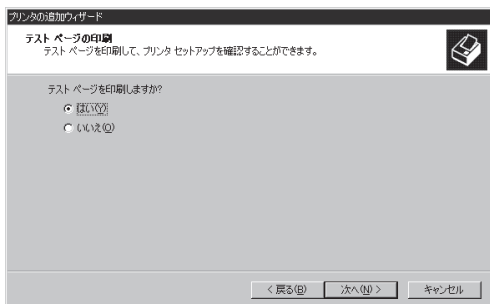
注記

クライアントへのインストールは各OS用の手順で、クライアントごとにインストールすることをお勧めします。



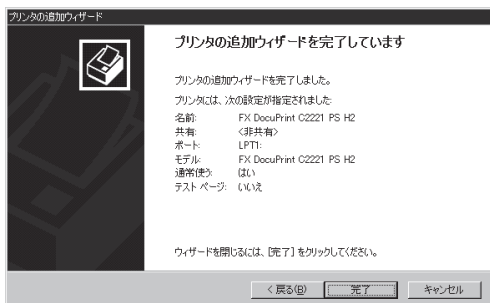
テストページの印刷を指定する画面が表示されます。

- 13 [はい] または [いいえ] を選択して、[完了] をクリックします。



インストール完了の画面が表示されます。

- 14 [完了] をクリックします。

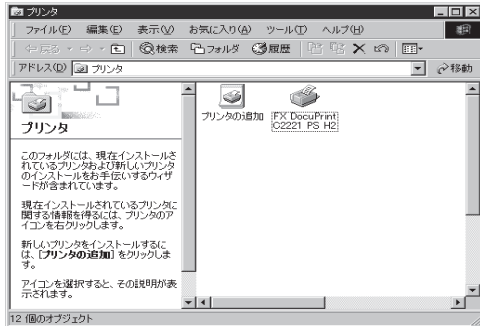


補足

「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログボックスが表示されますが、[はい] をクリックして、インストールを続けてください。

必要なファイルのコピーが開始されます。

- 15 コピーが終了したら、[プリンタ] ウィンドウに、プリンターが追加されたことを確認します。



これで、プリンタードライバーのインストールが終了しました。CD-ROMを取り出してください。

続けて、「6.3 デバイスオプションと印刷設定について」(P.64)を参照して、プリンターの設定をしてください。

注記

使用した CD-ROM は、大切に保管してください。

6.3

デバイスオプションと印刷設定について

プリンタードライバーのプロパティで設定する項目のうち、本機固有の以下の項目について説明します。これ以外の項目については、オンラインヘルプを参照してください。

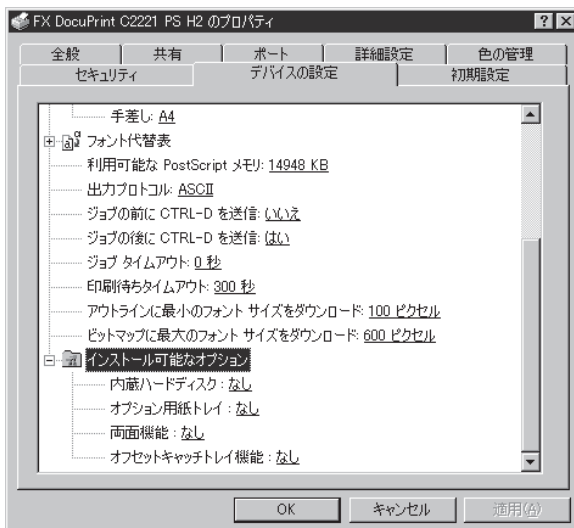
- [デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション]
- [初期設定] タブ
- [詳細オプション] ダイアログボックスの [プリンタの機能]
- [カラー設定] タブ
- [出力設定] タブ
- [CentreWare] タブ
- [バージョン情報] タブ

参照

オンラインヘルプの使い方については、「6.4 オンラインヘルプの使い方」(P.74)を参照してください。

6.3.1 [デバイスの設定] タブの設定

[デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] について説明します。正しく印刷するために、このタブの設定は、必ず正しい内容にする必要があります。



操作手順

- ① [スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。
- ② プリンターアイコンを選択し、[プリンタ] メニューの [プロパティ] を選択します。

- ③ [デバイスの設定] タブをクリックします。
- ④ [インストール可能なオプション] で設定したい項目を選択して、右に表示されるメニューで設定を変更します。
- ⑤ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

●● インストール可能なオプション

[インストールできるオプション] で設定する項目について説明します。

[内蔵ハードディスク]

内蔵増設ハードディスク装置の有無を指定します。本機に内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合は、[あり] に設定します。[部単位で印刷] の項目が設定できるようになります。

[オプション用紙トレイ]

本機に装着されているオプション用紙トレイの有無と種類を設定します。

[なし] [1トレイユニット] [3トレイユニット] [3トレイユニット(大容量)] (大容量トレイ) から選択します。

[両面機能]

両面機能の有無を設定します。

本機に両面機能がある場合は、[あり] に設定します。[あり] に設定すると、[両面印刷] の項目が選択できます。

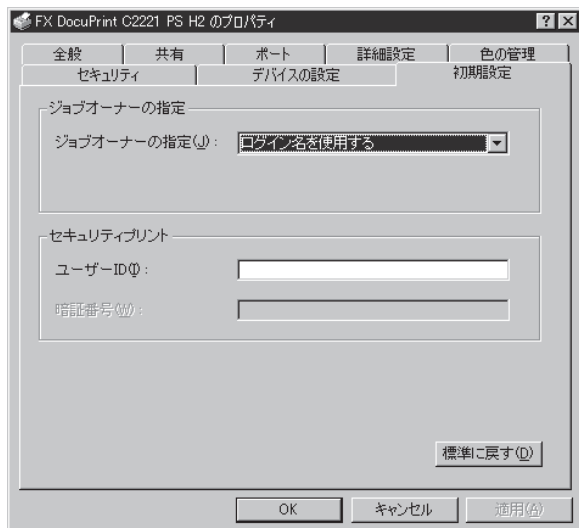
[オフセットキャッチトレイ]

オフセットキャッチトレイの有無を指定します。

本機にオフセットキャッチトレイが装着されている場合は、[あり] に設定します。[あり] に設定すると、[オフセット排出] が設定できるようになります。

6.3.2 [初期設定] タブの設定

[初期設定] タブで設定する項目について説明します。表示方法は、[デバイスの設定] タブと同様です。



補足

[標準に戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

●●● ジョブオーナーの指定

[ジョブオーナーの指定]

ジョブオーナーの指定方法を選択します。ジョブオーナーは、プリントジョブの集計機能を使用するとき使用されます。

[ログイン名を使用する]

ジョブオーナー名として、Windows のログイン名が使用されます。ジョブオーナー名は、「ログインユーザー名 ¥ ホスト名」になります。ログイン名の最大文字数は、31 バイト相当 (半角で 31 文字、全角で 15 文字) です。31 バイトを超える場合は、31 バイトまでが有効になります。

[オーナー名を入力する]

ジョブオーナー名を任意に指定したい場合に選択します。下に表示される [ジョブオーナー名] に、任意のジョブオーナー名を入力します。入力できる文字数は、31 バイト相当 (半角で 31 文字、全角で 15 文字) までです。31 バイトを超える場合は、31 バイトまで有効となります。初期値は、「UnknownUser」です。

●● セキュリティプリント

プリント出力指示を、プリンター内に一時的に蓄積させ、プリンター側での指示で出力させる機能です。暗証番号を付けてセキュリティをかけることもできます。

[ユーザー ID]

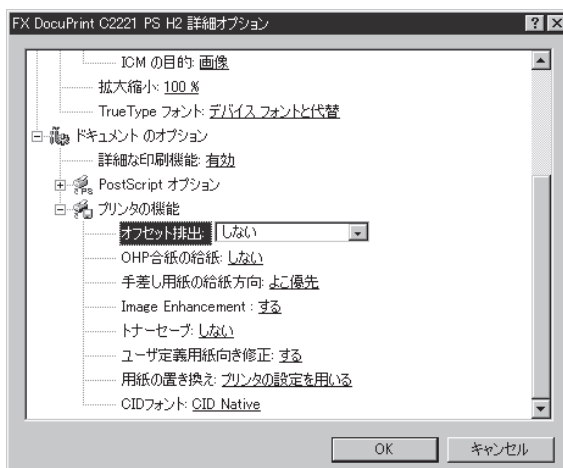
セキュリティプリントするときのユーザー IDを入力します。入力できる文字数は、半角英数字および半角カタカナで8文字(8バイト)までです。

[暗証番号]

セキュリティプリントするときの暗証番号を入力します。入力できる文字数は、半角数字4文字(4バイト)までです。

6.3.3 [詳細オプション] ダイアログボックスの設定

[詳細オプション] タブで設定する項目について説明します。



操作手順

- ① [スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。
- ② プリンターアイコンを選択し、[プリンタ]メニューの[印刷設定]を選択します。
- ③ [レイアウト] タブをクリックします。
- ④ [詳細設定] をクリックします。
- ⑤ [ドキュメントのオプション]の中の[プリンタの機能]で設定したい項目を設定します。

●●● プリンタの機能

[プリンタの機能] で設定する項目について説明します。

[オフセット排出]

ジョブ(印刷指示)/部(セット)単位に位置をずらして用紙を排出することを、「オフセット排出」といいます。直前のジョブ/部の排出位置が手前ならば、次は奥にずらして排出されます。ただし[用紙/出力]の[用紙サイズ]の設定によっては、オフセット排出機能は使用できません。

[OHP 合紙の給紙]

OHP 合紙機能を使用する場合の合紙の給紙先を設定します。

[手差し用紙の給紙方向]

用紙トレイ5(手差し)にセットする用紙の縦横の方向を設定します。用紙の短辺をトレイにあわせてセットする場合は[よこ優先]、用紙の長辺をあわせてセットする場合は[たて優先]に設定します。

[Image Enhancement]

印刷時に白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、擬似的に解像度を高めることができます。

[トナーセーブ]

トナーの消費量を少なくする印刷を行います。
この機能を使用すると、全体的に色が薄くなります。画質にこだわらないで、ドラフト原稿などを印刷するときに適しています。

[ユーザ定義用紙向き修正]

ユーザ定義用紙に印刷する場合に、用紙の向きを修正するかどうかを設定します。ユーザ定義用紙に印刷したときに、その用紙に対して印刷結果の向きが90度回転してしまった場合には、この設定を[する]にしてください。

[用紙の置き換え]

印刷するサイズの用紙がプリンターにないときの動作の設定をします。
選択できる項目は、次のとおりです。

[プリンタの設定を用いる]

プリンター本体の設定を使用します。設定については、プリンター本体の操作パネルで確認してください。

[用紙補給を表示する]

プリンター本体の操作パネルに、用紙補給のメッセージを表示します。用紙が補給されるまで印刷されません。

[近いサイズを用いる(縮小/等倍)]

最も近いサイズの用紙を選択して印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

[近いサイズを用いる(等倍)]

最も近いサイズの用紙に等倍で印刷します。

[大きいサイズを用いる (縮小 / 等倍)]

次に大きな用紙に等倍で印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

[大きいサイズを用いる (等倍)]

次に大きな用紙に等倍で印刷します。

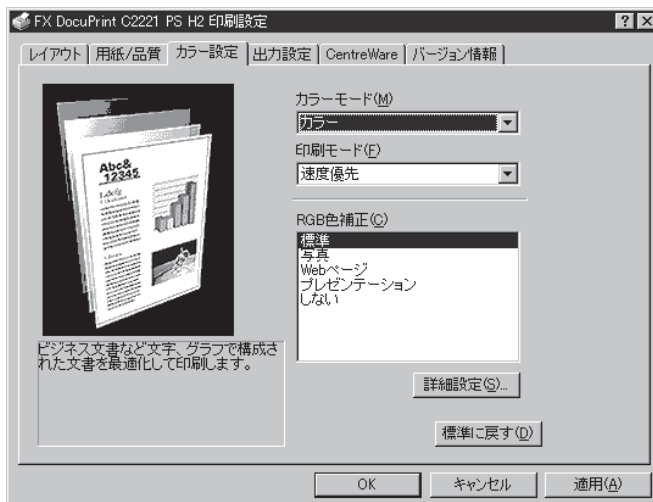
[CID フォント]

CID フォントについて設定します。

CID フォントだけを扱うモードにする場合は [CID Native]、CID フォントと OCF フォント両方扱うモードにする場合は [OCF Compatible] を、選択します。

6.3.4 [カラー設定] タブの設定

[カラー設定] タブで設定する項目について説明します。表示方法は [詳細オプション] ダイアログボックスと同様です。

**補足**

[標準に戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

●●● [カラーモード]

カラーモードを指定して印刷できます。[カラー] [白黒] から選択します。変更の結果は、左側のイメージで確認できます。

[白黒] は、K (ブラック) トナーだけを使用して、白黒で印刷します。

補足

カラーモードの [カラー] で印刷した場合でも、白黒のテキスト原稿のときは、白黒で印刷され、メーターもメーター1(白黒印刷)がカウントされます。

●●● [印刷モード]

印刷処理時間と画質のどちらかを優先して印刷できます。印刷処理時間が長くても、より高画質で印刷したい場合は[画質優先]を、画質を落としても早く印刷したい場合は[速度優先]を選択します。[標準]は、[画質優先]と[速度優先]の中間モードです。

●●● [RGB 色補正]

RGB 色補正を設定します。[カラーモード]で、[白黒]を指定すると、RGB 色補正は設定できません。

[標準]

ビジネス文書など文字、グラフで構成された文書を最適化して印刷します。

[写真]

写真やグラデーションをより美しく再現して印刷します。RGBで表現される画像に適しています。

[Web ページ]

Web ページなどディスプレイ表示を印刷したい場合に効果的です。

[プレゼンテーション]

プレゼンテーション資料など色をあざやかに印刷したい場合に効果的です。

[しない]

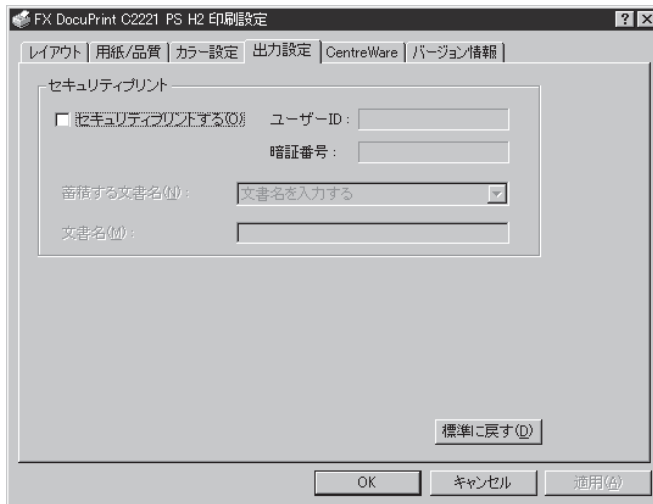
RGB 色補正をしません。

●●● [詳細設定]

クリックすると、詳細設定ダイアログボックスが表示されます。[詳細設定]ダイアログボックスでは、スクリーン、グレイ保証、RGBガンマ補正の設定ができます。

6.3.5 [出力設定] タブの設定

[出力設定] タブについて説明します。表示方法は [詳細オプション] ダイアログボックスと同様です。



補足

[標準に戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

●● セキュリティプリント

印刷指示したジョブを、プリンター内に一時的に蓄積させ、プリンター側での指示で出力させる機能です。[初期設定] タブの [セキュリティプリントのユーザーID] での設定を行うと、設定できます。

[セキュリティプリントする]

セキュリティプリントする場合にオンにします。

[蓄積する文書名]

文書名の指定方法を設定します。[自動取得] の場合、文書名は半角英数 / 半角カタカナで12文字までです。

[文書名]

[蓄積する文書名] ドロップダウンボックスで、[文書名を入力する] を選択した場合に、文書名を入力します。半角英数または半角カタカナで12文字まで入力できます。

6.3.6 [CentreWare] タブの設定

[CentreWare] タブで設定する項目について説明します。表示方法は [詳細オプション] ダイアログボックスと同様です。



補足

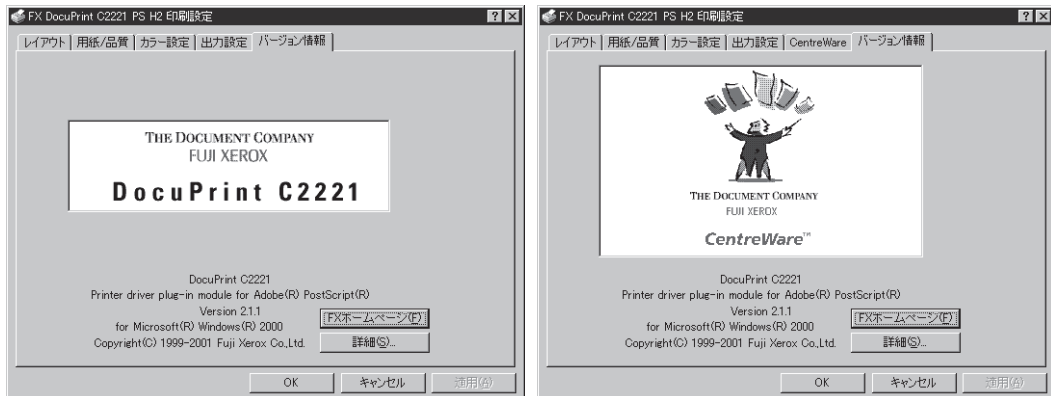
- [CentreWare] タブは、CentreWare がインストールされている場合に表示されます。
- [標準に戻す] をクリックすると、初期値に戻すことができます。

[ドキュメントモニターを使用する]

CentreWareのドキュメントモニターを、使用するかしないかを設定します。使用する場合は、[ドキュメントモニターを使用する] をオンにします。

6.3.7 [バージョン情報] タブの設定

[バージョン情報] タブについて説明します。CentreWare ネットワークサービスがインストールされている場合は、右側の画面となります。表示方法は [詳細オプション] ダイアログボックスと同様です。



[FX ホームページ]

お使いのコンピューターのブラウザを起動し、富士ゼロックス株式会社のホームページ内のドライバーダウンロードサービスページを表示させます。このホームページから最新のプリンタードライバーなどをダウンロードできます。表示するアドレスは、「<http://download.fujixerox.co.jp/>」です。

[詳細]

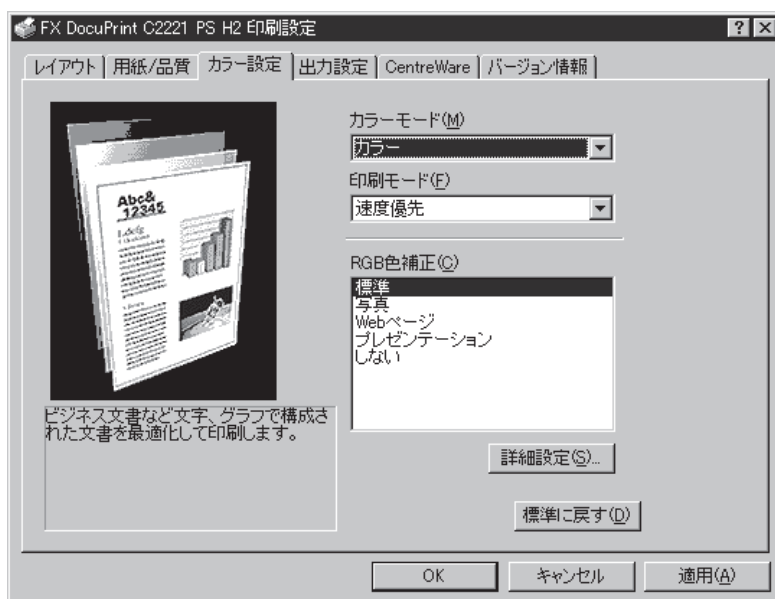
このボタンをクリックすると、[バージョン] ダイアログボックスが表示されません。ドライバーのファイルのバージョンを確認できます。

6.4 オンラインヘルプの使い方

オンラインヘルプの使い方は、以下のとおりです。

操作手順

- ① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの右上には、下図のように「？」があります。



- ② この「？」をクリックすると、マウスポインターの横に?マークの表示が現れます。その状態で、説明を見たい項目をクリックすると、ポップアップウィンドウが表示されて、その項目に関するヘルプ情報が表示されます。ウィンドウ内をクリックすると、ポップアップウィンドウが消えます。